

城南かわら版

上田城南地域協議会だより

平成 27 年 5 月 16 日発行
(第 10 号)

発行元：上田城南地域協議会
(事務局) 市民参加・協働推進課
電話：75-2230

■「地域まちづくり方針」から「地域の特性と発展の方向性」へ

上田市を 9 つの地域に分けた地域協議会は、第一次上田市総合計画（平成 20 ～ 27 年度）で策定されたそれぞれの「地域まちづくり方針」に沿って活動してまいりました。「地域まちづくり方針」は、自然や文化などそれぞれの地域の特色や個性を生かしながら、市民と行政が連携して住みよい地域づくりを進めるための方向性を示すものです。

当上田城南地域協議会も 7 項目からなる「上田城南地域まちづくり方針」に沿って活動し、今までに市へ 7 件の提言を行い、具体的な成果を上げることが出来ました。平成 28 年度からは第二次上田市総合計画がスタートします。それに伴い「地域まちづくり方針」は「地域の特性と発展の方向性」と名称変更され、内容も見直しされます。1 月に上田市から各地域協議会へ諮問があり、当城南地域協議会でも見直し・検討を行いました。

「上田城南地域まちづくり方針」では、城南公民館新築、上田道と川の駅の整備、泉田保育園新築、幹線道路整備等、主にハード面が中心でしたが「上田城南地域の特性と発展の方向性」では、ソフト面に重きを置き、城南公民館・上田道と川の駅の活用、高齢者ケア、地域ぐるみの子育て等 7 項目を 3 月 27 日に市長へ答申いたしました。



市長へ答申の様子

地域の特性と発展の方向性

上田城南地域協議会

上田城南地域

■地域の特性

1	国道 143 号、主要地方道上田丸子線などの幹線道路、更には別所線が通る交通利便性の高い地域
2	千曲川や半過岩鼻をはじめ上田原古戦場など、原風景が多く残る地域
3	幹線道路沿いには商業系施設が立地
4	生活利便性が高く住宅化が進み、人口は増加傾向
5	県営上田野球場や多目的グラウンドなど、スポーツ施設が集積している地域

■発展の方向性

＜まちづくりの基本的方向性＞

1	城南地域が“住んでよし、訪れてよし”と感じられ、人の姿の見える魅力あるまちづくりを進めます。
2	千曲川をはじめ産川や浦野川、小牧山や上田原古戦場、半過岩鼻など奇景や原風景の残る豊かな自然や農地を大切に保全するとともに、秩序ある都市空間づくりを進めます。
3	良好な住環境を保全していくため、住宅と農地の混在抑制や景観形成に配慮し、多様な商業環境と調和した快適に暮らせるまちを目指します。
4	別所線など公共交通を活用しながら、地域の生活利便性の向上を図るとともに、渋滞緩和や歩行者・自転車などの安全性に配慮した、道路交通環境の整備を進めます。

＜取り組みの方向性＞

取り組みの内容		視点・要素
① まちづくり活動拠点の活用と住民が主体となった地域づくりの推進		・ 地域力の向上と地域住民が抱える課題に対する協働の取組を推進し、城南公民館を地域コミュニティ拠点とした地域の個性を生かした住民主体の地域づくりの確立 ・ 安心・安全な生活ができるように地域住民と協働した地域防災の推進
② 「上田道と川の駅」を活用した地域振興の推進		・ 千曲川・半過岩鼻などの自然環境、上田原古戦場・天白山などの歴史的資源及び芝生広場・ウォーキングコースなどの公園施設を活かした観光振興の推進 ・ 各種イベントを通じたPR活動と情報の発信 ・ 地域ブランドとなる農産物を活かした商品の販路拡大
③ 人や自然にやさしい交通機能の整備		・ 地域内外を円滑に移動できるような主要な生活道路の整備 ・ 幹線道路の歩道整備とだれもが安心して移動できる道路環境づくりの推進 ・ 公共交通の利用拡大に向け、路線バスの増便など、利便性の向上を推進 ・ 別所線の存続に向けて、運行の安全性確保の支援や地域内の主要駅でのパークアンドライドの研究・検討など、利用促進の啓発活動の実施
④ 高齢者や障がい者を支える地域包括ケアシステム構築と保健福祉環境の整備		・ 健康寿命延伸を目指した健康づくり、生きがいづくり、社会参加づくりの基盤整備の推進 ・ 災害緊急時に要援護者に対し、地域住民が支援を進めるための住民支え合いマップの整備充実 ・ 地域包括ケアシステムの構築に向け、自助と共に地域の互助の精神を大切にした地域づくりの推進
⑤ 地域で子どもを育てるまちづくり		・ 家庭、地域、学校が連携し、地域全体で子どもを育てる環境づくりを実践 ・ 公民館を拠点とした子育てグループの育成と子ども達の社会力、学習力向上の支援 ・ 核家族化の進行に伴う、放課後や休校日の安全な児童の交流と学習場所の確保
⑥ 自然との共生を目指す里山の再生と農地の保全		・ 里山や千曲川などの豊かな自然環境の保全及び整備 ・ 適切な土地利用のルールづくりを進めながら、優良農地の保全と遊休農地の有効活用を推進 ・ 地域の土壌に適した農作物の発掘とブランド化
⑦ 歴史的・地域的資源の保全と活用		・ 地域の歴史や文化を伝承し、地域に誇りと愛着を持ち歴史的・地域的資源の保全を推進 ・ 歴史的資源を活用し、地域住民同士の交流を通していきいきと生活できる地域づくりの支援

答申の内容

■平成 27 年度わがまち魅力アップ応援事業について

上田市では、自治会や市民活動団体の皆さんが、地域の課題解決や活性化のために、自主的・主体的に取り組む地域づくり活動を応援しています。

平成 27 年度第 1 回目の募集では、上田城南地域管内で 2 件の応募があり、3 月 25 日の地域協議会にて審査した結果、2 件が採択となりました。

今後の募集は 6 月と 9 月を予定しております。

採択事業の紹介

団体名	事業名	年目
吉田自治会 好きです吉田会	吉田いにしえ周遊道路の整備	3
ふるさとづくり協議会	「竹やぶ整備と村おこし事業」	1



審査会の様子

■部会の取組状況

第1部会 テーマ「地域交通の利便性について」

第1部会では、地域交通の利便性向上について協議を行っています。特に城南地区においては、路線バスを運行していない地域もあり、地域住民の方がどのようにしたら、路線バスを利用しやすくなるのかということを検討しています。一步一步前に進めるためにも、まずは、住民の皆様の意向を伺おうと、地域交通の利便性に関するアンケート調査を城南公民館利用者を対象に実施し、第1回目は103名の方に回答をいただきました。

アンケート結果から感じることは、今の社会情勢が車社会であるという影響からか、高齢者の方でも路線バスに対して関心を持っている人が意外と少ないということです。高齢者はじめ様々な世代の方が路線バスに関心をもってもらうためにも、路線バスの運行ルートや運行時間等を考慮するとともに別所線との連携を図り、より多くの方が地域交通を便利に、そして安心して利用していただけるような提言をするために努力してまいります。

メンバー

部会長 牧野 良平（千曲町）
上原 より子（川辺町）、石井 真奈美（半過）、井出 祐三郎（上田原）
西澤 尚夫（御所）、増澤 吉雄（中村）

アンケート調査の結果（抜粋）

- | | |
|----------------------------|------------------------------------|
| ☆ 性別 男 69人 女 34人 | ☆ バスをどのような目的で利用されていますか？（複数回答可） |
| ☆ 年代 40代 17人 50代 27人 | 1位 飲み会 |
| 60代 31人 70代 21人 | 2位 買い物 |
| ☆ あなたは、バスを利用されていますか？ | ☆ バスを利用したい時間帯は何時ころですか？（複数回答可） |
| （オレンジバス、青バス、赤バスなどを含む。） | ・午前 6時～ 7時台 5人 8時～9時台 5人 |
| ・利用していない 91人 | 10時～ 11時台 9人 |
| ・年に2～3回 11人 | ・午後 5時～ 6時台 12人 7時～8時台 6人 |
| ☆ バスの停留所が近くにあれば利用しますか？ | 9時～10時台 11人 11時台 6人 |
| はい 33人 いいえ 56人 | ☆ どのようにしたら大勢の人がバスを利用するようになると思いますか？ |
| ●いいえの理由 | ・本数が多くあり、夜遅くまで運行する。 |
| ・運行便数が少ない。（利用したい時に利用できない。） | ・停留所が近い。 |
| ・路線の都合が悪い。（目的地がバス停から遠い。） | ・料金が安い。 |
| ・今は車の運転ができるのでバスは利用しない。 | ・バスは小型化してコースを周回 |
| | ・忘年会、新年会、休日等、利用状況に合わせた運行 |
| | ・停留所に屋根等がある。 |

第2部会 テーマ「これからの子育てについて」



学校視察の様子

昨今、各家庭においては、核家族化、夫婦共働きが常態化し、子どもと過ごす時間が取りにくい社会環境となっております。

このような状況の中で、教育現場においては、学校と地域が一体となり、協働で子どもたちを育てていく、取組が始められております。

そこで、第2部会では、地域ボランティアの必要性等について、城南地域の各学校にアンケート調査を実施しました。そして調査をする中で、城南地域の抱える課題や問題点が見えてまいりました。各学校においては、地域ボランティアの必要性を感じている学校が多い中、地域とともにある学校を目指し、すでにベー

スとなる既存のボランティア会議を構築している学校もあります。今後さらに地域の皆様に、得意分野での参画をいただいて、共に子どもたちを育てていければと感じております。

なお、11月には神科小学校へ視察に伺い、「おたすけっ十有志隊」など活発な活動が行われている地域ボランティア団体のお話をお聞きました。活動を展開することにより、児童から学校が楽しくなったという声が増え、また登校拒否が改善されたなどの効果があり、これからも学校とボランティアが協働し、活動を続けたいというお話に感銘を受け、城南地域においてもこうした取組が必要であると考え、今後も提言に向け調査研究をしてまいりたいと考えております。

メンバー

部会長 柳澤 政次（千曲町）
河野 照美（千曲町）、新谷 靖代（福田）、田中 剛（中之条）、
宮本 安芸子（下之条）、山崎 須美江（小牧）

第3部会 高齢者部会 テーマ「シニアの安全・安心なまちづくりについて」

現在の城南地域の高齢化率は25.1%、後期高齢化率は12.5%です。また、本地域は上田市の各地域の中で高齢化率が1番低い地域となっています。しかし、核家族化の進展により、高齢者世帯、高齢者一人世帯が年々増加しており、これら的高齢者を地域全体で支える仕組みづくりが大きな課題と考えております。

私たちの部会では、その対策を考えるために、まずは市や城南地域の自治会での現在の取組を知ろうと、市福祉課や高齢者介護課、そして地区社会福祉協議会の方々をお呼びし、取組状況についてお聞きました。

様々な取組を知る中で、安全・安心なまちづくりを実現するためには、次のような対策が城南地域に必要と考え、現在提言に向け検討しています。

- ①地域の要援護者に対し地域住民が支援を進める住民支え合いマップ作成の促進
- ②緊急時に氏名・生年月日・血液型等記載された「安心カード」の普及啓発。
- ③高齢者等買い物弱者に対する支援対策

メンバー

青島 洋祐（神畑）、石井 信子（半過）、内山 保男（御所）、
大久保 章（倉升）、関 美佐子（神畑）、田玉 利貞（御所）



市関係課や地区社協による説明の様子

■わがまち魅力アップ応援事業実績報告

団体名：半過の水源を守る会 事業名：大口水源整備（平成 25 年度実施事業）



事業完了後の現地と
水路への試し通水



城南地域協議会でも
現地視察を行いました。

事業の目的・意義について

大口水源は古くから上半過集落の大切な水瓶で、かつては簡易水道の水源としても利用されていました。その後、市の上下水道普及後は主に住民の農業用灌漑水として使用されてきました。しかし、人手不足等のため周辺整備もされず草や灌木が茂り荒れ放題でしたが、今回、先人の大切な遺産を後世にも伝えたいという住民の願いから、水源確保と人々の憩いの場づくりを目的に「半過の水源を守る会」が発足し、事業が行われました。

《城南さんぽ道》

～倉升の巻～



長池・馬頭観世音→水神宮・下の沢道祖神→上の沢道祖神

→飯綱社→くらます山散歩みち→金城炭鉱跡

長池 慶安元年（1648 年）に築かれたという長池は、かつては西池・中池・東池の三つの池が連なっていましたが、その後埋め立てられ、東池は長池公園、中池は創造館に生まれ変わり、現在は西池のみ残っています。又、長池の周囲は、さくらの名勝としても知られており、今も桜並木が健在です。

馬頭観世音（写真①） 中之条から長池の北土手の上を通り神畑村、別所へと続く旧別所街道の面影として長池公園の入口に、弘化四年（1847 年）の馬頭観世音が安置され往時の面影が偲ばれます。



写真① 馬頭観世音

水神宮（お水神様）（写真②） 創造館前を通り、西池の脇を抜けると、東池の埋め立てにより現在の地に遷宮され、長池を守り続けている水神宮「お水神様」が祀られています。



写真② 水神宮

下の沢道祖神・上の沢道祖神（写真③） 倉升には二つの道祖神があり、一つは水神様の脇にある「下の沢道祖神」で、もう一つは下の沢道祖神から 250 m ほどあがり、神畑原峠線を横切った 20m ほど先に「上の沢道祖神」があります。道祖神は厄災の侵入防止や子孫繁栄等を祈願するために集落の守り神として道の辻に祀られたことから、かつての集落の有り様が伺えます。



写真③ 飯綱社

飯綱社（写真③） 上の沢道祖神から少し行くと、倉升の産土神である飯綱社が山際に見えます。鳥居の手前左右の石灯籠には「文化 12 年 11 月吉日」（1815 年）と刻まれています。祭神は「保食神」（うけもちのかみ）とも『「食稲魂」（うがのみたま）とも言われています。

くらます山散歩みち（写真④） 神畑原峠線の脇に、わがまち魅力アップ応援事業で整備された「くらます山散歩みち」の看板があり、そこから 500 m ほど遊歩道を登ってゆくと見晴らしの良い「さとやま広場」があります。そこはかつて垂炭が採掘された金城炭鉱があり、又、武田晴信（信玄）が陣を張った場所でもあります。現在は東屋が整備されております。



写真④ くらます山散歩道

◆◆◆ あとがき ◆◆◆

城南かわら版第 10 号をお届けします。平成 28 年度からスタートする第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」の諮問に応じた検討・答申について、及び第 5 期上田城南地域協議会部会の活動内容、わがまち魅力アップ応援事業についてをお知らせいたしました。

今後も地域の課題、まちづくり、に関するご意見、情報を事務局までお寄せ願います。